

# 国際交流員通信 5

## 「年末年始事情」

皆さん、あけましておめでとうございます。

この年末年始の連休は、いかがお過ごしでしたでしょうか。振替出勤なしでこれだけ長く休めるというのは、本当に素晴らしいことですね。中国では今年の春節（旧正月）にも9連休がありますが、実は法律で定められた休日は4日間だけなのです。9日間の連休を実現するために、前後の土曜日を振替出勤にする必要があり、本当に大変でした。その点、日本の方が休日が多くて羨ましいです。

さて、私自身の楽しかった年末年始事情を紹介したいと思います。

### 恐ろしい納め式

休み前の最終出勤日、市役所では「公務納め式」が行われました。オンラインで拝見したのですが、一番驚いたのは、それがたったの5分で終わったことです。中国にも似たような年末の式典がありますが、そこでは一番偉い人が延々と、少なくとも30分以上は話します。一年のまとめと来年の計画を含め、とても長いスピーチが続きます。その後、各担当者や優秀な職員の挨拶もそれぞれ5分以上かかり、とにかく2時間は必要です。どんな式典であれ、5分で終わることは絶対にありません。もう一度言います。絶対にありません！だから、下関市の市長の挨拶が5分で終わったのは、ある意味「恐ろしい」くらい衝撃的でした。帰国した後、中国で長々としたスピーチを聞かされるたびに、この5分で終わった納め式のことを思い出さずにはいられなくなりそうですね。

### 友達と過ごした元日

先日、私は神戸へ行き友人の曹さんと共に新年を迎えました。友人が料理を作ってくれて、すごく上手でした。「簡単なものばかりだよ」と本人は言っていましたが、おそらく私の料理が下手すぎるだけかもしれません。普段、「料理はできますか」と聞かれると、「できないわけではないですが、美味しくはないんです」と答えることにしています。特に肉料理は作りません。私の腕前では、せっかくの肉を台無しにしてしまうと思っているからです。友人は鶏料理や野菜料理、そしてすき焼きを作ってくれました。日本の元日は多くのお店が休みのため、外食はできません。そのため、12月31日から1月1日まで、友人の家でのんびりと過ごしました。



ありがとう、曹さん。家に帰ると、またカップ麺生活に戻りますね。

## 年末年始の交通事情

12月28日の朝に下関を出発し、1月3日の夜に戻ってきました。新幹線のさくら号の自由席を予約したのですが、この話を職場の人にしたら、とても心配されました。実はその前にも、神戸の友人から「のぞみは全部指定席だよ」と教えてもらっていたのですが、後になってわかったのは、その真意は「この時期はすごく混むから、指定席を買った方がいい」というアドバイスだったということです。「いや、わかるかい！お前日本人より婉曲的だわ！」とツッコミました。

出発前日、職場の人も私が自由席を選んだことを知り、「無事に乗れますように」と祈ってくれるほどでした。まあ、立ったとしても2時間だけだし、何とかなるだろうと思っていました。これもまた、日本の年末年始の交通を体験する良い機会だと考えたのです。中国の何億人の「春運」（春節の帰省ラッシュ）と比べられますし、ギュウギュウの缶詰状態になるのもまた一興かと。

結局、実際の車内はこの様子でした。（往復）



余裕でした。運が良かったのは確かですが、この「期待を裏切られた」ような、少し複雑な気分は何なのでしょう。

## 神戸の六甲山牧場

神戸で買い物のほか、六甲山牧場に行きました。羊は外で散歩していて、触っても全然大丈夫です。羊の毛はふわふわで、とても温かかったです。シープレスも観戦しました。いわゆる競羊です。優勝する羊の番号を予想して、当たるとプレゼントがもらえる仕組みで、みんなで盛り上りました。六頭の羊がレースを始めたのですが、途中で全部草を食べに行って、観客は一斉に笑い出しました。結局、4番と1番が一位と二位で、残念ながら私の予想は外れてしまいました。でもすごく楽しかったです。



牛もとてもユニークでした。その名は「ランボルギーニ」です。生後三ヶ月から馬の群れの中で育ち、馬の社会ルールや馬語を学びながら成長したそうです。そのため、走り方や立ち居振る舞いがまるで馬のようで、自分の事を馬だと思っているらしいのです。説明看板には「乗用牛」と書かれており、見ているだけでにこにこしました。

帰り際には幸運なことに、本格的な雪が降り始めました。まさか神戸で雪景色に出会えるとは思っていなかったので、とても嬉しいサプライズでした。

今年が順調で幸多い一年になりますように。 